

令和6年度 埼玉県学力・学習状況調査の結果(上柴西小学校)

平均正答率

1 自校の平均正答率と県の平均正答率との比較

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
上柴西小	下回った	下回った	下回った	上回った	下回った	下回った
埼玉県	51.9	56.9	56.7	62.6	53.4	50.9

2 自校の学力レベルと県の学力レベル

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
上柴西小	5-B	6-C	6-A	5-C	5-C	6-C
埼玉県	5-B	6-B	7-C	4-A	5-B	6-B

3 自校の学力の伸びと県の学力の伸び

教科	国語			算数		
	小4	小5	小6	小4	小5	小6
上柴西小		1	0		1	1
埼玉県		1	0		1	1

児童生徒質問紙調査の結果と分析

※質問事項は質問紙調査より抜粋したもの

※「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた値(単位 %)

	質問事項	小4		小5		小6	
		上柴西小	埼玉県	上柴西小	埼玉県	上柴西小	埼玉県
深谷の子6つの誓い	・将来の夢や目標を持っている	93.9	91.2	88.4	82.5	82.7	80.4
	・難しいことでも失敗をおそれないで挑戦している	81.8	79.3	78.3	77.6	85.1	72.3
	・自分からはっきり挨拶をすることができる	81.8	75.9	79.7	77.6	82.8	77.9
	・脱いだはき物のかかとをそろえることができる	86.4	78.5	86.9	82.4	90.8	84.8
	・相手の気持ちを考え、やさしい言葉遣いができる	90.9	82.7	85.5	86.7	85.1	84.5
	・勉強するときは、最初に計画を立ててから始める	54.6	47.8	50.7	46.2	56.3	46.2
	・休日などの学校が休みの日に1日当たり1時間以上勉強している(塾等を含む)	59.1	55.6	63.7	58.8	73.5	60
学習等への関心	・勉強することが楽しい、好き(勉強する理由として)	43.9	31.4	20.3	24.9	17.2	19.9
	・勉強は将来の進学や就職に役に立つ(勉強する理由として)	81.8	75.2	82.6	77.4	88.5	79.8
	・地域の歴史や自然に関心をもっている	83.3	73.5	71	71	66.6	61.1
授業について	・授業を通して学んだ内容についてさらに詳しく知りたい、学びたいと思った	75.8	73.3	66.6	69.3	73.5	67.1
	・課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりしたことで、自分の考えをもてるようになった	86.4	82.1	72.4	80	88.5	82
	・国語や算数の授業で、ほぼ毎回タブレットを使っていた(2項目の平均として)	13.6	16.9	9.4	16.7	24.7	22.3
	・昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した	36.4	23.1	40.5	25.8	56.3	26.6
その他	・学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれた	86.3	84.8	79.7	88.7	91.9	90.4
	・学校の友達は自分のよいところを認めてくれた	98.5	92	85.5	92.9	93.1	93.7
	・学級での生活は楽しい	98.5	94.8	89.8	92.5	89.6	91.6

【質問紙分析】

- ・「昨年度、週2回以上、タブレットを家に持ち帰って、宿題含めて学習に利用した」割合が県の割合と比べて高いのは、児童が毎日タブレットを使うことが習慣付いたためと考えられる。
- ・「将来の夢や目標を持っている」割合が県の割合と比べて高いのは、キャリアパスポートを効果的に活用していることや「6つの誓い」が児童に浸透しているためと考えられる。
- ・「勉強することが楽しい、好き（勉強する理由として）」割合が県の割合と比べて低いのは、「学習内容が難しくなっている」、「興味が湧かない」、「勉強が将来どのように役立つかわからない」と感じている児童がいるからと考えられる。そのため、日々の授業を充実させ、分かる授業を行う必要がある。また、今の学習が将来どのようにつながっていくかを伝えていく必要がある。

伸びが見られた学級・教科での取組

【学級】

- ・伸びが見られた学級では、スモールステップや個に応じたゴールを設定して、課題に取り組ませていたため、苦手なことでも頑張ることができる児童を育てることができたと考えられる。
- ・伸びが見られた学級では、教師が児童に対し成功したことを積極的に称賛することで、児童が学習に対する興味関心を高めることができたのではないかと考えられる。

【国語】

- ・伸びが見られた学級の国語では、作文や成果物を保護者にも見てもらう等、家庭と連携することで、指導の充実を図ることができた。

【算数】

- ・伸びが見られた5年生の算数では、練習問題に取り組む際に、教師が問題数や時間を調整して最後まで見届けることで、児童が最後までやりぬく力がついたと考えられる。
- ・伸びが見られた学級の算数では、ICT機器を活用し、宿題で出した問題の模範解答を公開した。そのため、児童がいつでも問題の解き方確認することができ、学習内容を理解することにつながったのではないかと考えられる。

一人一人をより伸ばすための取組

- ・学力向上PJが良い結果につながるものもあった。そのため、今後も大切に取り組んでいく。
- ・研修等で、苦手な領域を分析し、ポイントを絞り反復学習をしていく。
- ・国語の読み取りの問題に課題があった。そのため、問題に慣れるために類似問題を朝学習等で取り入れていく必要がある。
- ・課題である国語では、インターネット等からの情報が多いため、やみくもに情報を得ていると考えられる。そのため、「辞書を引く」、「慣用句を調べる」、「文章を読んだり書いたりする」、「インタビューをする」等、能動的に言語に触れ使う機会をつくる必要がある。
- ・5年生算数「三角定規の角の和」を問われる問題に課題があった。そのため、三角定規を角度によって色分けする等、児童にとって視覚的に分かりやすくして理解を深めていきたい。また、図形をたくさん描く経験が必要である。
- ・5年生算数「伴って変わる量」を問われる問題に課題が見られた。原因として、どちらがもとにする量で比べられる量かが分からないと考えられる。そのため、もとにする量と比べられる量が分かるように赤線を引いたり、数直線を活用したりするように指導を工夫していきたい。
- ・5年生算数「具体的な事象を伴ってかわる二つの量に関連付け根拠を明確に記述する」を問われる問題に課題があった。そのため、定型文を練習し、必ず書かなければいけない（キーワード）を指導していく必要がある。